

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年10月8日 (2015.10.8)

【公開番号】特開2014-40016(P2014-40016A)

【公開日】平成26年3月6日 (2014.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-012

【出願番号】特願2012-182392(P2012-182392)

【国際特許分類】

B 4 1 J 13/02 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 13/02

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 6 5 H 5/06 M

B 6 5 H 5/06 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月20日 (2015.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を記録する記録ヘッドと、

前記記録ヘッドにより画像が記録される中間転写ドラムと、

記録媒体の先端を保持して当該記録媒体を、前記中間転写ドラムにより画像が転写される転写位置に搬送する搬送ドラムと、を備える記録装置において、

記録媒体の搬送方向における前記転写位置の上流側に配置され、記録媒体を前記搬送ドラムに押圧して回転する押圧ローラと、

前記押圧ローラを駆動し、前記押圧ローラを前記搬送ドラムより遅い回転速度で回転させる駆動部と、を備えることを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

画像を記録する記録ヘッドと、

記録媒体の先端を保持して当該記録媒体を、前記記録ヘッドにより画像が記録される記録位置に搬送する搬送ドラムと、を備える記録装置において、

記録媒体の搬送方向における前記記録位置の上流側に配置され、記録媒体を前記搬送ドラムに押圧して回転する押圧ローラと、

前記押圧ローラを駆動し、前記押圧ローラを前記搬送ドラムより遅い回転速度で回転させる駆動部と、を備えることを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

前記押圧ローラに所定値以上のトルクがかかったときに前記駆動部から前記押圧ローラへの駆動の伝達を遮断するトルクリミッタを更に備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記トルクリミッタは、前記押圧ローラと前記駆動部との間に連結されていることを特徴とする請求項 3 に記載の記録装置。

【請求項 5】

記録媒体を搬送する際に前記記録媒体と前記押圧ローラとの間に生じる摩擦力は、前記記録媒体と前記搬送ドラムとの間に生じる摩擦力よりも大きいことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記押圧ローラは、記録媒体を当該記録媒体が搬送される方向に対して垂直な方向に押圧することを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記押圧ローラの中央部における外径は、前記中央部よりも両端側にある位置における外径よりも小さいことを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記した目的を達成するために、本発明は、画像を記録する記録ヘッドと、記録ヘッドにより画像が記録される中間転写ドラムと、記録媒体の先端を保持して当該記録媒体を、中間転写ドラムにより画像が転写される転写位置に搬送する搬送ドラムと、を備える記録装置において、記録媒体の搬送方向における転写位置の上流側に配置され、記録媒体を搬送ドラムに押圧して回転する押圧ローラと、押圧ローラを駆動し、押圧ローラを搬送ドラムより遅い回転速度で回転させる駆動部と、を備えることを特徴とする。